

# 令和4年産 コメ通信

第8号（令和4年7月26日）

【発行】  
北秋田地域振興局農林部農業振興普及課  
（電話：0186-62-1835）

## 適切な水管理と病害虫防除を！

### 1 気象経過と生育状況

#### 【気象経過】

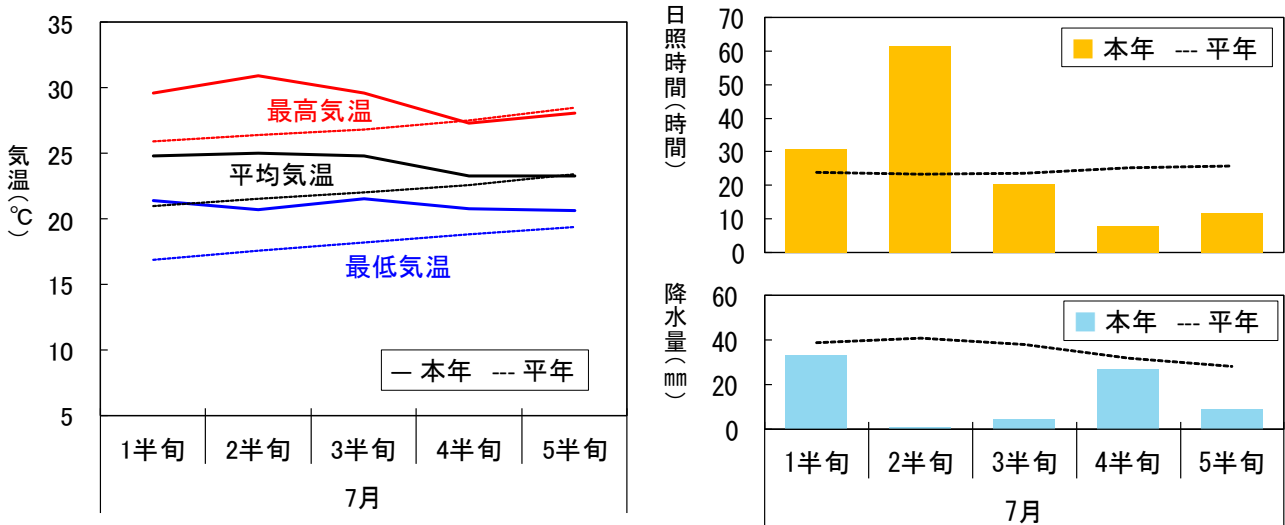


図1 気象経過図（アメダス鷹巣）

○7月3半旬の気温は平年より高く、4～5半旬は平年並となりました。4～5半旬の日照時間は平年より少なく、3～5半旬の降水量は4半旬を除いて少なくなりました。

#### 【生育状況】

- 7月25日現在の生育（あきたこまち：9地点平均）を平年と比べると、草丈は長く、茎数はかなり少なく、葉数は平年並、葉色はやや濃くなっています。
- 多くの定点ほ場で減数分裂期を過ぎており、数地点で走り穂も見られました。
- 日平均気温から算出したあきたこまちの出穂期は、中苗の5月20日植えて8月1日頃（平年：8月5日頃）と平年より早まる予測となっています。

表1 定点調査結果（7月25日）

	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (葉)	葉色
本年	78.3	398	12.7	38.8
平年	73.7	520	12.5	37.4
前年	83.9	503	13.0	38.6
平年比	106%	76%	+0.2	104%
前年比	93%	79%	-0.3	101%

※平年は過去10か年の平均値を示す。  
※葉色はSPAD-502で測定した。

表2 あきたこまち（中苗）の出穂期の予測（アメダス鷹巣）

田植日	出穂期（平年値）
5月15日	7月29日（8月3日）
5月20日	8月1日（8月5日）
5月25日	8月4日（8月7日）
5月30日	8月7日（8月10日）

※7月25日以降は平年値で計算した。  
※出穂期：全茎数の40～50%が出穂した日のこと。穂が少しでも出ていれば出穂とする。

## 2 当面の水管理

- 仙台管区気象台の1か月予報（7月21日発表）によると、向こう1か月の東北地方日本海側の天気は、気温は高く、降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並か多いと予想されています。気温に応じた適切な水管理を今後も行ってください。
- 出穂期までは間断かん水が基本となります。出穂期から開花期は水を多く必要とする時期なので、出穂後10日間は湛水状態にして、水を切らさないようにしてください。
- 湛水管理をせず中干しのような状態で高温登熟すると、白未熟粒やくさび米等の被害粒の発生が多くなります。
- 気温が30℃を超えるような暑い日は、用水を十分に確保できる地域ではかけ流しかん水等により地温を下げて、根の機能減退を防止しましょう。
- フェーン現象などで乾燥した風が強くとく日は湛水状態を保ち、水分蒸散による稲体の消耗を軽減します。
- ★カドミウム含有米の発生が懸念される地域では、出穂期3週間後まで湛水管理を厳守し、カドミウムの吸収を抑制してください。

## 3 病害虫防除対策 ～斑点米カメムシ類、かなり多い～

※飼料用米も主食用米と同様に、病害虫防除を行ってください。

### 【いもち病（穂いもち）】

- BLASTAM（アメダス）の判定では、管内で6月27日、7月1日、16日、18日、19日、20日、21日、23日、24日に感染好適日が観測されています。今後の発生に注意してほ場を見回ってください。
- 7月下旬以降に上位葉で葉いもちの発生がある場合は、出穂15～7日前にコラトップ剤またはゴウケツ粒剤/サンブラス粒剤のいずれかを散布するか、出穂直前にトライフロアブルかビーム剤と穂揃期にトライフロアブルかラブサイド剤を茎葉散布します。さらに、必要に応じて傾穂期にもラブサイド剤による追加防除を行い、穂いもちを防ぎます。
- ラブサイド剤（フサライド）を含む農薬の総使用回数は3回以内となっています。

### 【斑点米カメムシ類】

- 病害虫防除所の調査によると、全県的にカメムシ類のすくい取り数が多い状況です。このため本年の薬剤防除は、出穂期10日後頃と同24日後頃の2回散布体系を基本とします。
- 1回目の防除ではスタークル/アルバリン剤を出穂期10日後頃に畦畔を含めて茎葉散布し、その後7日以内に農道や畦畔の草刈りを行います。2回目の防除は出穂期24日後頃にキラップ剤（使用時期は収穫14日前まで）またはエクシード剤（同7日前まで）を、畦畔を含めて茎葉散布します。
- 法面や休耕田等の雑草地は、収穫2週間前までは草刈りをしないでください。
- 近隣に水稲以外の作物（野菜等）がある場合や養蜂業者がいる場合は、薬剤散布前に情報交換を密にして散布を実施してください。

表3 カメムシ類の防除に使用する薬剤

	薬剤名	希釈倍数	散布量 (/10 a)	散布時期
1回目	スタークル粉剤DL	1,000倍	150 L	出穂期 10日後頃
	アルバリン粉剤DL			
	スタークル液剤10			
2回目	スタークルメイト液剤10	2,000倍	150 L	出穂期 24日後頃
	キラップ粉剤DL			
	エクシード粉剤DL			
	キラップフロアブル			
	エクシードフロアブル			

～農業機械使用時には、安全に十分注意して作業を行ってください～

問い合わせはJAまたは農業振興普及課まで ～次回発行は8月下旬頃～